

No.1 PAR4 R.T 361Y



ゆるやかな打ち下ろしのミドルホール。第1打はセンターよりやや右側、クロスバンカー方向がベスト。このバンカーまではレギュラーティーから241Yあります。フェアウェイ左サイドは若干つま先上がりのライになるため、グリーン狙いは要注意。セカンドショットは軽い打ち上げです。

No.2 PAR5 R.T 504Y



やや左にドッグレッグしたロングホール。右サイドはOBなのでティーショットの狙い目はショートカット気味に左サイドのノリ面方向、これが安全策でもあります。右バンカー手前まではレギュラーティーから217Y。セカンドショットからは軽い打ち下ろしなので、ティーショット次第では2オンが狙えます。

No.3 PAR3 R.T 154Y



軽い打ち下ろしのショートホール。グリーンは大きめですが2段になっているため、ピンポジションを考えた上での確かなクラブ選択が必要。松の木やバンカーのある左サイドへ外すとアプローチが難しくなります。右サイドからはグリーンが受けているので比較的寄せやすいアプローチとなります。

No.4 PAR4 R.T 369Y



左ドッグレッグのミドルホール。第1打は正面2つのクロスバンカー左方向が狙い目。このバンカーまではレギュラーティーから222Y。左手前バンカーをショートカットする場合はレギュラーティーからキャリーで180Y必要です。距離の出ない人は正面右のバンカー方向狙いとなりますが、あまり右に打ちすぎるとグリーンまでは打ち上げとなり距離が残ります。

No.5 PAR4 R.T 402Y



グリーンまでほぼ真っすぐな距離のあるミドルホール。第1打はフェアウェイ中央から右サイド狙い。左サイドは若干左に傾斜しており、つま先上がりのライからグリーンが狙いづらくなります。セカンドからは軽い打ち上げとなり、グリーンには傾斜があるためピンの位置をよく把握した上で攻めていきましょう。

No.6 PAR4 R.T 303Y



距離は短めですが、グリーン手前に池とクリークが控えたミドルホール。このクリークまでの距離はレギュラーティーから249Yですから、第1打のクラブ選択に要注意です。セカンドはクリーク越えとなり、グリーン周りもバンカーに囲まれているので高い球筋のショットが要求されます。

No.7 PAR5 R.T 501Y



軽い右ドッグレッグのロングホール。セカンド付近は右に杉林がせり出しているため、ティーショットはフェアウェイ左サイドがベストポジション。右に打ちすぎるとグリーン方向がこの林でスタミになります。グリーン左にはバンカー、右には深いグラスバンカーが控えています。

No.8 PAR3 R.T 184Y



距離がある上にグリーンもタテ長(奥行42Y)のため、ターゲットが絞りにくいショートホール。使用ティーによって難易度がかなり違ってきます。ピンポジションや風向きなどの条件によって距離感やクラブ選択が要求されるパー3ホールです。

No.9 PAR4 R.T 334Y



距離はさほど長くありませんが戦略性の高いミドルホール。フェアウェイを斜めに横切るクリークとタテに並んだ2本の木が狙いどころを狭くしています。手前の山桜の木まではレギュラーティーから約130Y、奥のモミの木までは209Y。第1打の狙い目にはこのモミの木と右のポットバンカーのあいだです。

No.10 PAR5 R.T 484Y



軽い左ドッグレッグのロングホール。ティーショットの狙い目は右のクロスバンカー方向が正規のルート。同バンカー手前まではレギュラーティーから222Y。2オンを狙うのであれば左のバンカー越えで最短ルートを選びたいところ(キャリーで213Y以上必要)セカンドからはやや打ち上げとなり、グリーンにはアンジュレーションが効いているので、3パットに要注意です。

No.11 PAR3 R.T 143Y



豊かな樹林に包まれた味わい深いショートホールですが、グリーン左手前の大きなガードバンカーには要注意。高低差のあるアリソン風のバンカーになっており、ここに捕まるとアプローチが厄介です。どちらかと言えば、右から攻めるのが安全策です。

No.12 PAR4 R.T 329Y



左ドッグレッグのミドルホール。フェアウェイの中央の木まで約140Y。ティーショットのベストルートは左のバンカー越えで、このバンカーはレギュラーティーからキャリーで155Yあれば越えられます。距離も長くない、グリーン周りもそれほど難しくないので積極的にパーディーを狙っていきましょう。

No.13 PAR4 R.T 352Y



目線ではグリーンまでストレートに見えますが、フェアウェイをやや右に曲げ、左にバンカーを並べることで狙いと方向性を錯覚させるレイアウトになっています。第2打付近の右サイドは広々としており、左バンカー付近にはアンジュレーションがきつくグリーンが狙いにくくなっています。

No.14 PAR4 R.T 309Y



当クラブで最も距離の短いミドルですが、そのぶんティーショットの方向性が要求されます。狙い目は右ノリ面のスソ方向、ただし、右のOBに注意。左サイドに置くとセカンドでグリーン手前の木がスタイミーに。またグリーン周りには5つのバンカーと2つのグラスバンカーが控えているため、高弾道のボールでピンをデッドに狙ってください。

No.15 PAR5 R.T 477Y



広々としたフェアウェイに思い切りロングドライブが楽しめるパー5ホール。第1打は池方向に。第2打以降はグリーン手前まで続く右サイドの池が少なからずプレッシャーを与えます。2オンを狙うにはティーショットの飛距離が必要。グリーン手前に池が効いているため無理をせず刻んだほうが得策でしょう。

No.16 PAR3 R.T 146Y



チャンピオン～レディースのすべてのティーグラウンドからほぼ完全な池越えとなるショート。グリーン手前にはガードバンカー、後方には3つのポットバンカーが配されて、このホールの美しい景観と相まって攻めがいのあるパー3ホールとなっています。結果オーライはほとんど望めない、ピンをデッドに狙ってください。

No.17 PAR4 R.T 369Y



グリーンまで真っすぐ、インコースで最長のミドルホール。フェアウェイに配された複数のバンカーと、左サイドからせり出したノリ面が気になりますが、第1打の落下地点は比較的広がっています。狙いどころは右バンカーの左脇がベスト。同バンカーの先まではレギュラーティーから210Yです。グリーンは大きく、やや2段になっています。

No.18 PAR4 R.T 349Y



軽い打ち上げの最終ミドルホール。ティーショットの狙い目はフェアウェイ中央のバンカーと右の木のあいだ。飛距離の出る人はバンカー越え(レギュラーティーから188Y必要)を狙えば第2打がラクになります。ただし7個のバンカーがグリーンを囲んでいるため、正確なセカンドショットが要求されます。